



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月1日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7240 URL http://www.nok.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鶴 正登
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 五十嵐 清史 TEL 03-3434-1736
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	534,419	△9.9	26,997	△40.8	33,281	△37.3	20,331	△39.1
28年3月期第3四半期	593,239	15.5	45,602	△8.8	53,113	△16.2	33,370	△15.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 37,039百万円 (52.3%) 28年3月期第3四半期 24,324百万円 (△70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	117.86	—
28年3月期第3四半期	193.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	762,337	458,069	55.4
28年3月期	696,989	433,404	56.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 422,056百万円 28年3月期 395,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	25.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	664,000	△11.0	30,300	△37.2	31,100	△42.1	21,200	△29.5	122.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P3.「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	173,138,537株	28年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	489,609株	28年3月期	738,448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	172,505,417株	28年3月期3Q	172,879,844株

(注) 期末自己株式数には従業員ESOP信託口が保有する当社株式（平成29年3月期第3四半期 317,700株、平成28年3月期 566,700株）が含まれております。また、従業員ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式数に含めております。（平成29年3月期第3四半期 461,276株、平成28年3月期第3四半期 87,123株）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としての実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みが見られるものの、公共投資等の経済対策や設備投資の底堅い推移により、景気は緩やかながらも回復基調を維持しております。一方、海外においては、米国経済は引き続き好調を維持しているものの、中国は景気減速基調が継続しております。

自動車業界は、国内では、熊本地震の影響による自動車生産の一時操業停止等がありましたが、新車投入効果等により、需要は回復してきております。また、海外では、北米での需要は引き続き好調に推移し、加えて、中国では小型車減税の影響により需要が増加しました。

電子機器業界は、ハードディスクドライブ、デジタルカメラ、タブレット端末の需要が減少し、スマートフォンについては、需要は増加するも成長は鈍化しました。

事務機器業界は、複合機の需要は横ばいで推移したものの、プリンターの需要は減少しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の業績は以下のとおりです。

シール事業におきましては、自動車向けについては、国内の需要回復に加えて、北米や中国等、海外での需要増加により販売が増加しました。一般産業機械向けについては、建設機械等の需要回復により、販売は増加しました。その結果、売上高は2,288億7千万円（前年同期比3.3%の増収）となりました。営業利益は、増収により266億3千7百万円（前年同期比15.7%の増益）となりました。

電子機器部品事業におきましては、自動車向けは堅調に推移しているものの、スマートフォン向け等の受注減少に加え、為替の影響もあり販売額は減少しました。その結果、売上高は2,780億7千4百万円（前年同期比18.4%の減収）となりました。営業損失は、販売の減少、品目構成の変化、償却費の増加、および為替の影響等により、13億1千5百万円（前年同期は206億8千9百万円の営業利益）となりました。

ロール事業におきましては、プリンターの需要減少により販売は減少しました。その結果、売上高は173億1千万円（前年同期比19.5%の減収）となりました。営業利益は、販売の減少により7億4千1百万円（前年同期比36.4%の減益）となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業におきましては、売上高は101億6千3百万円（前年同期比9.4%の増収）となりました。営業利益は8億6千4百万円（前年同期比30.3%の増益）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,344億1千9百万円（前年同期比9.9%の減収）、営業利益は269億9千7百万円（前年同期比40.8%の減益）、経常利益は332億8千1百万円（前年同期比37.3%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は203億3千1百万円（前年同期比39.1%の減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、7,623億3千7百万円となり、前連結会計年度末対比で653億4千7百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加、および株価の上昇に伴う投資有価証券の増加によるものです。

負債合計は3,042億6千8百万円となり、前連結会計年度末対比で406億8千2百万円の増加となりました。これは主に仕入債務の増加に伴う買掛金の増加、および短期借入金増加によるものです。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、およびその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末対比で246億6千5百万円増の4,580億6千9百万円となり、自己資本比率は55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境等の先行き不透明な状況を鑑み、平成28年11月9日に公表いたしました業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,881	84,103
受取手形及び売掛金	132,012	176,315
たな卸資産	74,998	75,838
その他	20,436	17,538
貸倒引当金	△261	△358
流動資産合計	323,068	353,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,236	83,026
機械装置及び運搬具(純額)	91,149	102,027
その他(純額)	51,046	55,939
有形固定資産合計	222,432	240,993
無形固定資産	2,895	3,449
投資その他の資産		
投資有価証券	120,004	135,279
その他	28,802	29,393
貸倒引当金	△213	△215
投資その他の資産合計	148,593	164,456
固定資産合計	373,921	408,900
資産合計	696,989	762,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,958	68,779
短期借入金	47,132	60,415
未払法人税等	2,676	3,696
賞与引当金	8,963	5,364
その他	51,029	58,786
流動負債合計	156,761	197,042
固定負債		
長期借入金	21,307	20,130
繰延税金負債	8,544	11,443
環境対策引当金	1,183	730
退職給付に係る負債	71,459	70,806
その他	4,328	4,115
固定負債合計	106,823	107,226
負債合計	263,585	304,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	22,735	22,759
利益剰余金	322,251	334,146
自己株式	△2,119	△1,282
株主資本合計	366,204	378,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,023	48,731
為替換算調整勘定	11,724	11,750
退職給付に係る調整累計額	△19,507	△17,384
その他の包括利益累計額合計	29,239	43,097
非支配株主持分	37,959	36,012
純資産合計	433,404	458,069
負債純資産合計	696,989	762,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	593,239	534,419
売上原価	486,270	447,737
売上総利益	106,969	86,681
販売費及び一般管理費	61,366	59,684
営業利益	45,602	26,997
営業外収益		
受取配当金	1,839	1,874
持分法による投資利益	4,917	3,677
為替差益	390	—
その他	2,696	2,927
営業外収益合計	9,843	8,479
営業外費用		
支払利息	1,766	1,531
為替差損	—	124
その他	566	538
営業外費用合計	2,332	2,195
経常利益	53,113	33,281
特別利益		
固定資産売却益	151	89
段階取得に係る差益	150	—
受取和解金	149	—
その他	86	14
特別利益合計	537	103
特別損失		
固定資産除却損	570	2,426
事業構造改善費用	—	673
出資金売却損	824	—
その他	1,656	259
特別損失合計	3,050	3,360
税金等調整前四半期純利益	50,600	30,024
法人税等	13,792	7,650
四半期純利益	36,807	22,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,436	2,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,370	20,331

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	36,807	22,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△577	11,697
為替換算調整勘定	△12,299	432
退職給付に係る調整額	1,681	3,216
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,287	△681
その他の包括利益合計	△12,483	14,664
四半期包括利益	24,324	37,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,925	34,189
非支配株主に係る四半期包括利益	1,398	2,850

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	221,569	340,867	21,515	9,286	593,239	—	593,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,325	38	—	216	2,579	(2,579)	—
計	223,895	340,905	21,515	9,502	595,819	(2,579)	593,239
セグメント利益	23,015	20,689	1,164	663	45,533	69	45,602

(注) 1. セグメント利益の調整額 69百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	228,870	278,074	17,310	10,163	534,419	—	534,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,218	12	0	200	2,432	(2,432)	—
計	231,089	278,086	17,311	10,363	536,851	(2,432)	534,419
セグメント利益又は 損失(△)	26,637	△1,315	741	864	26,928	69	26,997

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 69百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。